

学校運営協議会議事録

校名	大阪府立山田高等学校
校長名	前田 貴司

開催日時	令和8年2月9日(月) 15:30～
開催場所	大阪府立山田高等学校1階 校長室
出席者(委員)	友谷会長、道倉委員、川上委員、西川委員、神田委員
出席者(学校)	前田校長、坂口教頭、今西事務長、金子首席、松田指導教諭
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和7年度 学校経営計画及び学校評価</li> <li>・令和7年度 授業アンケート分析</li> <li>・令和7年度 学校教育自己診断集計結果と分析</li> <li>・令和8年度 学校経営計画及び学校評価(案)</li> </ul>
備考	なし

議事等(次第順)	
1.挨拶	・会長 ・校長
2.協議 1	保護者からの意見書の提出状況
3.協議 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和7年度学校経営計画について ー達成状況</li> <li>(2) 令和7年度学校教育自己診断集計結果と分析</li> <li>(3) 令和8年度学校経営計画案</li> <li>(4) 質疑応答および協議・助言</li> <li>(5) その他</li> </ul>
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
協議 1	保護者からの意見書の提出状況
	・なし

## 協議 2

### (1) 令和7年度学校経営計画について — 達成状況 (承認)

- ・地域的に小・中学校でも減少しているときくが、自宅学習時間が減っているのは、複合的な要因があるのではないか。質問のしかた(塾などを含むか)の問題もある可能性がある。
- ・服装指導への反発もあった。近隣校との差(学校間の差に生徒は敏感である)など。
- ・本校生徒の自転車通学の状況が近隣の小・中学生と保護者に不安をあたえていることもある。(小学校のアンケートに記載があった)小学生と本校生では通学のピーク時間は異なるが、双方に危険な状況もある。小学校付近はボランティアが立ってくださっている。
- ・地域清掃への地域住民の参加については周知の方法を工夫し、増加をめざす。

### (2) 令和7年度学校教育自己診断集計結果と分析

- ・生徒の回答は全項目がパーフェクトだったR5と比べると肯定的な割合が減りつつある
- ・制服の着用についてのルールと、ルールを守っているという生徒の認識にギャップがあるため不満をもっている生徒が一定数いると推測される。

#### [質疑応答・意見]

◆生徒の相談事には主に担任の先生が対応しているのか。⇒担任だけではなく、学年主任、部顧問なども対応している。

◆小学校は校長への提言シートがあるが、高校はあるのか。⇒ある。

◆教員の集計結果はシビアだが、それだけ言うことのできる環境といえるのでは。学校は、生徒が主役であり、生徒の意見が反映される学校であってほしい。今春より自転車の交通ルールの法律が厳格化するので、地域等と協力しながら啓発活動を行っていただきたい。そこで、校長のリーダーシップを発揮していただきたい。

### (3) 令和8年度学校経営計画案 (承認)

- ・台北市立大安高級工業職業学校が第二姉妹校になり、今までの隔年から毎年生徒を海外へ派遣することになる。

#### [質疑応答・意見]

◆オンラインの交流はしているのか。していないなら、継続的な交流の取り組みをしてはどうか。⇒研修後にメール等の交流は個別にしているようである。

◆指導はしていただいているのだろうが、先日のPTAの会議で具体的な進路希望のない生徒が科目選択にとまどっているということが話題になっていた。

- ・教員の働き方改革について活発な意見交換があった。

### (4) 質疑応答および協議・助言

◆次年度の学校経営計画は校長が異動になった場合はどうなるのか。

⇒異動後に一定猶予期間があるので、新着任の校長による修正は可能である

◆若年層の選挙参加が増えている。主権者教育は山田高校では実施されているか。

⇒主権者教育は「公共」の授業等で実施している

(5) その他

防犯カメラの設置について〈校長より提案〉⇒承認された。

吹田市危機管理課に正門前への設置を交渉中であるが、自校での設置となった場合、後援会や同窓会、PTA に支援をお願いしたい。

次回の会議日程

日時

2026年7月頃

会場

大阪府立山田高等学校